



Rin



国際交流協会 わたり 会報

特集 いち日ホームビジット



協会初のイベントとして5月16日、外国人を一日だけ自宅でもてなす「いち日ホームビジット」を開催しました。参加していただいた外国人は6ヶ国12名、また受入れホストファミリーは10家族でした。

当日は時折小雨が降るあいにくの天気で、中

には近場の公園などを散策された家族もありましたが、外出して亙理の自然を十分楽しむにはあまり適さない日でした。それでも、それぞれの家族では、自宅でいろいろ趣向を凝らした過ごし方をされたようです。その様子を本文でご紹介いたします。

参加外国人と日本人ホストファミリー

№	外国人	日本人ホストファミリー	年齢	国籍	家族名
1	ALT Nicky Furniss	石巻	女 25	南アフリカ	勝部ファミリー
2	ALT Cindy Cole	仙台泉区	女 24	アメリカ	石垣ファミリー
3	ALT Jenn Chic	柴田町	女 31	カナダ	西垣ファミリー
4	ALT Jessica Kempton	利府町	女 23	イギリス	古賀ファミリー
5	ALT Maria Torres	築館町	女 34	アメリカ	八巻ファミリー
6	ALT Philip Wood	仙台泉区	男 29	イギリス	高野ファミリー
7	ALT Yasir Makhoom	大和町	男 25	カナダ	武田ファミリー
8	ALT Matthew Basey	仙台市泉区	男 22	イギリス	南條ファミリー
9	留学生 ゲレル	仙台市青葉区	女 26	モンゴル	佐藤ファミリー
10	留学生 ツュリン	仙台市宮城野区	男 28	新疆ウイグル自治区	"
11	留学生 パタ	仙台市宮城野区	男 27	新疆ウイグル自治区	菊地ファミリー
12	留学生 ムンクガル	仙台市宮城野区	男 27	新疆ウイグル自治区	"

一日ホームビジットを終えて

参加ホストファミリー の感想

今回のホームビジットで僕は「国際交流」の根っこの部分を見た気がします。(本文より)



ホストファミリーとの顔合わせの前の外国人参加者の皆さん

我が家の初めての小さな国際交流
三男の感想「とても楽しかった」

武田 ゆき

我が家の子供達は外国人がにがてです。何故かと尋ねると「だって、日本語が通じないんだもん。」という至って単純かつ最も重要な理由からです。言葉が通じるとか通じないとかではなく、仲良くなろうという気持ちがあればいいんだ、ということをお伝えしようと思い、home visitに申し込みました。我が家にはカナダからのヤーサさんがお出でになりました。にもかかわらず長男、次男は三十分しか一緒にいられず、何とかこの時間を有効に使おうと考え子供との共通の話題をサッカーということを見つけ出し一緒にサッカーをしようとしたのですが雨が降ってきてできず、結局一緒にラストサムライのDVDを見て一緒に時間を過ごしてしまいました。その後は習字にトライしてもらいました。以前にもやったことがあるということでもとても上手な出来栄でした。

お昼は一緒におにぎりを作りました。食べたことはあるけど、作るのは初めての経験ということだったので、よかったかなと思っています。

あいにくの雨の天気だったために、思うように動けず、近くの大雄寺に急遽案内してみたりしましたが、あいにく、歴史に疎いもので(事前に下調べをすれば良かったのですが)質問されても答えがわからず、大変失礼なことをしたと反省しています。その後、いちご狩りや海水浴場へ案内しました。

折り紙にも興味があるということで、最後は家に帰って折り紙と一緒に楽しみましたが、なにせ、鶴しかおれず、もっと準備をしておけばよかったと反省ひとしきりです。

初めての受け入れで反省点がたくさん見えてきたのでこの次はもっと有意義にすごせるかと思えます。もっと

私自身が色々勉強して最低限の説明ができるようにならなくては・・・と強く感じました。

一番長くヤーサさんと接した三男はとても楽しかったとの感想でした。なぜなら、ヤーサさんは、息子と話すときは日本語で話し掛けてくれたからだそうです。

我が家で初めてもてなした、小さな国際交流。とてもよい経験になりました。

勢いで申し込んだホストファミリー
不安いっぱい、でもあつという間に過ぎた一日

西垣 裕子

『ホームビジット』という聞き慣れないことばを友人から聞いたとき、なんだかとても「体験してみたい!」という気持ちが出て、今回、初めて参加させていただきました。

具体的にどのような時間を過ごしたらよいのか、思い巡らしておりましたが、事前説明会で、ホームビジットの概要や当日のプランの提案、注意点などを教えていただきました。これが、とても参考になりました。

我が家にやって来たjennさんは、カナダ生まれ。自己紹介を兼ねて、自分の生まれた町や旅行の写真をみせながら話してくださいました。

我が家はキャンプ好きで、カナディアンカレーをやっているのですがそれが共通の話題となり、はじめからうまく話がはずみました。

お昼は、「おにぎりパーティ」。中身は、鮭、たらこ、うめぼし、とろろ昆布、ツナマヨネーズなど。手巻き寿司の要領で、お皿の上に海苔を敷き、あつあつの白ご飯の上に、好きな中身を自分でせて巻いて食べます。jennさんは、日本食が好きで、いろいろ食べていらしたようですが、「とろろ昆布」は初体験。お味噌汁に入れて、とろりとなったのを見て驚いていました。味も気に入った

ようで、おにぎりの具としたり、そのまま食べたりしていました。

食後には、我が家自慢の「本棚」へご案内。私は、絵本が大好きでコレクションしているのですが、jennさんが子どもの頃に読んだ思い出の絵本の日本語版を見つけて、手にとって読まれていました。登場人物の名前を確認したり、好きな絵本作家の話など、また共通の話題がうまれ、とてもうれしくなりました。こどもたちは、jennさんに「読んであげる！」と言って、『ももたろう』の絵本を一緒に楽しんでいました。

鳥の海までドライブの後、「コマ回し」に挑戦したり、ちいさな杵と臼で「餅つき」をしました。つきたての温かくやわらかいお餅に、あんこやきなこをのせて「Yummy!!」を連発して食べていました。

勢いで申し込みをしたものの、よく考えてみれば、英語がしゃべれない状態で、正直なところ、本当に交流できるのだろうか？と不安でした。でも当日は、不安を感じさせないくらい、あっという間の楽しい時間でした。参加してよかったと感じています。



Jennさんと西垣ファミリー

Jennさんから協会宛に届いたEメール

I wanted to thank you again for a wonderful day in Watari. I thought the home stay was a wonderful idea and so well organized. I loved meeting my family and we had a great time together!

I would love to come to Watari again. I think Watari is very lucky to have an international association. I am sorry that Shibata does not have one. If there is any way I can help you or take part in your activities I would love to hear from you!

Thank you again,

ホームビジットは終わりましたが、今ではメール交換しています。とてもすてきなご縁をいただいて感謝しています。また機会がありましたら、参加させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

我が家の半日ウルルン

菊地 義昭

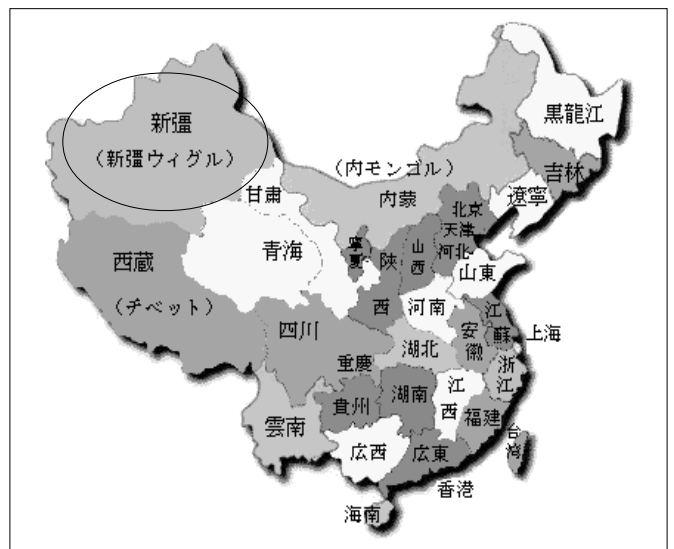
皆さん「新疆(しんきょう)ウイグル自治区」と聞いて、何処の国のことかお判りでしょうか？これは同じアジアの中国にある行政区のことなのです。

つい最近テレビの「世界ウルルン滞在記」で長寿の村のことを放送していましたが、その村もこの自治区内に在ります。そして日本で一番馴染みがあるのは、シルク・ロードの中継地だった「楼蘭」があった辺りと、そして西遊記の孫悟空が牛魔王と戦ったとされる火炎山の場所もこの地区内だそうです。中国の地図を広げると、ゴビ砂漠の西でタクラマカン砂漠の北に位置していて、国境を接する国々では「モンゴル」「ロシア」「カザフスタン」「キルギス」「タジキスタン」「アフガニスタン」「パキスタン」「インド」の8ヶ国です。

そして民族構成はもっと多岐に亘っています。ウイグル族は勿論、漢族の他、カザフ族、回族、蒙古族、キルギス族、タジク族、シボ族、ロシア族、満州族、ダオール族、タタール族、ウズベク族など等、さすが大陸のど真ん中です。

砂漠と草原のこの地域は、果物の種類が豊富に採れる所なのだそうです。温度差と乾燥気候からなのか、新鮮なもの以外は乾燥果物として食べるようです。そう言えば仙台の定義山のお店で、同じ乾燥果物を見掛けました。

わたしの家にお迎えした二人の方は、その自治区から東北大学に留学生として来られ、一人の方はまだ一年し





バタさん（右端） ムンクガルさん（左端）と菊地ファミリー

か経っていないのに日本語をとてもし上手に話されていて、我が家としてはお～助かりでした。事前に中国の「新疆ウイグル自治区」からの方と聞いていたので、中国語を話される方が来られるもだと思っていましたが、中国語も勿論出来ませんが、民族的に云うとモンゴルの方で、言葉もモンゴル語であり、その生活習慣や歴史認識も「モンゴル」の事ばかりで、特に相撲の朝青龍関やその他のモンゴル出身の関取の話しには、朝青龍関が笑った時にする様な細い目をして得意になって話していました。それと「チンギス＝ハン」や孫の「フビライ＝ハン」についても、熱く語っていました。

日本では昔、字は殆ど縦書きでしたが、モンゴルの字も縦書きです。と言うより、縦にしか書けない模様のような字なのです。そう言えばNHKの大河ドラマの「北条時宗」で、オープニングの画面にモンゴルの文字が出ていました。

我が家では雨だったこともあるのですが、外には出掛けず家でいるんな話しをしたり、障子貼りをして過ごしました。（障子を貼り替えなくて！良かった～？）インターネットで「新疆ウイグル自治区」や「モンゴル」に関することにつなげたりしたので、話しは尽きなかったのですが、あっという間に時間だけが過ぎてしまい、短期でもウルルンの別れとなってしまいました。＜ウルウル＞

ホームビジットを終えて

高野 恵子

今回この企画に参加したのは、以前から外国の方の友達が欲しいと、この様なチャンスを待ち望んでいました。こちらの協会に所属している紙ふうせんの方からお話しを伺い、申し込みました。

申し込んでみたものの英語力はないは、何か話題がある訳でもないは、案内出来る名所も知らない等、日が近づくにつれ焦りが出てきて、それでも何のプランも思い

浮かばないまま、当日を迎えてしまいました。

ゲストの方と初めはお茶と和菓子を楽しみ、筍や蒨を見せて山菜採りの話しをしたり、お琴を弾いたりして時間を過ごしましたが、昼食の準備の時くらいから、退屈な想いをさせてしまったらしく、欠伸をしたり無口になってきました。

午後からレインボーブリッジの方へ行ったのですが、あいにくの雨でゆっくり散策も出来ず、四時までは少し時間が有ったのですが、悠里館へ戻ってしまいました。この巨理のお城については絶賛していました。

今回の反省点は、家族が点でバラバラで歓迎している気持ち薄かった様にゲストの方に見えたのではないかなと思う点、私の家族紹介が足りなかった事、お昼を一緒に作らないで、台所へ入ってしまった事・・・等です。

それからゲストの方のデータをもっと少し知っていたら、楽しませてあげられる工夫が出来たかもしれませんが、事前に一度でも連絡を取れたら良かったかなとも思っています。

今回は初めてだったので、至らない点も沢山あり、ゲストの方を退屈させてしまいました。まためげずにこの様な機会がございましたら参加させて頂きたいと思えます。

（これを機に英会話頑張ろうかな～）

ありがとうございました。

ホームビジットから学ぶ国際交流

古賀 鉄兵

「なんとかなるだろう？」と思っていた反面、内心では少し不安もあったホームビジットは、気が付いたらお別れの時だった、と言うのが正直な感想でした。

我が家に遣って来たジェシカ・ケンプトンさんはイギリス出身で、現在利府高校でALTをされている二十三歳のとても綺麗な女性でした。もう直ぐで日本に来られて



Jessicaさんと古賀ファミリー

一年経つということもあり、時には日本語で話すこともありました。

しかし、当たり前のことですが、会話の殆どは英語です。家族の中では一番英語に慣れている僕が、主に話していたのですが、彼女の話していることが分かって、その答えを英語で伝えることが出来ず、辞書に頼りっぱなしで、まだまだ英語の勉強が足りないなあと痛感しました。

それでも自分が以前ホームステイをした時に比べると、だいぶコミュニケーションは取れる様になったと思います。

今回のホームビジットで僕は「国際交流」の根っこの部分を見た気がします。「国際交流」と聞くと身構えてしまったり、敬遠してしまいがちですが、例え国籍などが違って同じ人間には変りないのです。こちらが自分の気持ちを伝えようとするれば、相手もそれを解ろうとしてくれるはずですよ。

外国の方と、自分が知っている限りの英語(単語)を使って、少しでも話しをしてみることは、僕はそれだけでも、もう立派な国際交流だと思います。

今回このような機会を与えて頂き、ありがとうございます。また二回目があれば、次回も宜しくお願いします。

ホームビジットの一コマ

西垣ファミリー



できたてのお餅を、食べる大きさに丸めているところ

古賀ファミリー



そば降る雨の庭園を散策

菊地ファミリー



障子張りに挑戦

勝部ファミリー



巨理公園の入り口で(パンジーがきれいでした)

中国語圏 (台湾高雄 福建省廈門 大連市) に13年間滞在

台湾語、福建語、北京語に
翻弄—私の中国語学習

-- 笹木 重昭 --

万里の長城 (撮影 笹木)



平成元年(1988年)ある日突然1枚の転勤辞令。日本国内転勤は数多くあり、2、3日での移動はそれほど苦痛もなく受け止めていた。今回は外国勤務であった。いまだかつて考えたこともなく、まして外国語などまったく無縁だった私になぜ?。疑問のみが先走り会社の人事とは・・・と思いつつも、前向きに考えれば海外へ出れるまたとないチャンスでもあった。

転勤先は台湾「高雄」の勤務である。語学はおろか、ましてや中国語など一言もできず辞令を受け取り、後あわただしく1週間で身支度し移動することになった。海外勤務は初めてなのに引率者もなく、まったく一人で不安一杯の中、羽田国際空港より一路台湾へと飛び立った。

翌日より早速勤務となる。さてこれでは生活にも支障をきたすと思ひ退勤後夜間の中国語教室の塾通い。個人レッスンでは指導を受けるも発音(音声)が悪く何度もやり直しの繰り返し。また会社へ行くと現地従業員は台湾語。何のための塾通いか。またここで疑問となった。そんなこんなで生活にも慣れ、多少余裕が出来て一応片言でも話が出来ようになり、夜の街へも一人で外出出来るようになった。台湾高雄で5年半勤務で日本に帰

国。帰国後半年もたたぬ内に今度は中国福建省廈門市への転勤。この地区の言葉は福建語で台湾語とよく似通った語源であり、生活にもさほど苦痛を感じず過ごすことが出来た。

中国も広大な国で一応北京語が標準語とされており、地方へ行くと方言なまりが多く、現地の従業員同志ですら言葉が通じないことも多くあるようだ。そんな中での従業員とのコミュニケーションを取ることが難しく職場内での専門用語は日本語と英語の文章での指導となった。

中国福建省廈門(アモイ)での生活は約4年間で無事日本に帰国したが、慣れてしまうと中国が恋しくなり、自ら中国の職場を選び今度は中国大連市へと3度目の転勤となった。この頃になると慣れが先で中国語は出来なくとも、ハートで行動が出来る様になった。また中国語といえども南と北ではかなり違いがあり、南方は重くナマリが多い。反省として台湾を含め中華系に13年も生活したが、結論としては正規の中国語が出来ないまま終わってしまい、今思うと無駄な日時を過ごしてしまったかと後悔している。ただその間に中国の観光地を精力的に旅行した分は大いにプラスかもね。これが私の中国体験記でした。

珈琲 タイム

「宮城は英語を話す人が非常に少ない」。こ
う語るのはホームビジッ
トに参加してくれた南ア
フリカ出身のニッキさ

んだ。彼女は現在石巻市でALT(英語指導助手)をしている。宮城県に派遣される前は北海道でALTをしていたそうだ。その時の経験から、北海道と宮城県を比べると、どうも「宮城県の方が英語を話す人が非常に少ない」という感じがするそうだ。それでは、宮城県は英語に対する関心が低いのだろうか。二〇〇二年の統計であるが、人口に対する英検受験者は、実は宮城県の方が北海道より多い。さらに合格率も高くなっているのである。にもかかわらず、英語を話す人が北海道より少ないというニッキさんの実感は、いったいどういう理由からなのだろうか。予想されるのは、東北人特有の控えめな性質から、英語に関心があっても積極的にしゃべるといふ行動をとらない、ということが考えられる。英語を話す人の割合が多かるうが少なかるうが何の問題もないが、英語への関心や興味があるにもかかわらずコミュニケーションの部分で壁があるとすれば、せっかくの努力が身を結ばずとも残念なことである。そうだとすれば、語学の学習以外にも何かが必要なのかもしれない。(M・I)

これから続けて習いたいのは

着物の着付、日本料理、そして空手！

今回は中国から日本に嫁いで来られて9年目の「小野華相(カアイ)」さんをお願いしました。小野さんの御家族は6人で、兼業農家の主婦として元気に暮らして居られるようです。日本語教室・親子日本語講座・交流祭りと、色々と行事に参加していらっしゃいますが、日本そのものを吸収しようとする積極性とバイタリティーを、小野さんから感じました。

現在、子育て真っ最中(小3女と小1男)でもある彼女にとって、日本語教室で学べたことが、とても役立っているそうです。学校からの連絡プリントを読み理解することは、パートナーの協力も有りますが、何とか華相さん本人が理解出来ているようです。

生花を学んだことで、庭の花を手折りにして、お部屋に活けて飾ったりしています。また、当初全く異なっていて、戸惑った日本料理も少しずつ慣れて出来る様になりました。

「これから学んでみたいことは？」との問いには、「着

物の着付け・日本料理、そして空手！」と笑って答えてくれました。

ここでインタビューテープは止めたのですが、事務局長の八巻さんも交えて、三人の主婦同士が、家族の大切さと、日常生活に感謝する心、そして一家の主婦として自分の健康が家族の健康につながる事などを語り合っ、お開きと成りました。



親子日本語講座の着付教室に参加して

平成16年6月21日 インタビュアー 高橋泰子

'02、'03文化庁委託「親子日本語講座 in わたり」は協会の協力の元実施されました。

世界の料理紹介コーナー

*** 韓国料理 きゅうりキムチ ***

料理指導・・・伊藤恵美・志織

伊藤さんは韓国出身で日本に嫁いできました。志織ちゃんは娘さんです。

材 料

きゅうり
ニラ
ニンニク
ショウガ
ごま
塩
砂糖
トウガラシの粉
キムチ用しおから

キムチ用しおからは韓国食材スーパー『ハンシック』で手に入ります。

ハンシック TEL022-381-8929

志織ちゃんからのメッセージ

むずかしくないしおいしいですよ。
夏の美味、きゅうりキムチです。



作り方

1. きゅうりの表面を包丁の背でかき出す。
2. きゅうりを3センチくらいに切る。
3. きゅうりに深く切れ目を入れる。
4. きゅうりに塩をふり、30分から1時間おく。
5. ソース具を作る。
 - ・ニラを1センチほどに切る。
 - ・ニンニクとショウガをニラにまぜる。
 - ・砂糖、ごま、トウガラシの粉を入れる。
 - ・しおからを入れて手でよくまぜる。
6. きゅうりの切れ目にソース具をはさめば完成。

平成 16 年度 『在住外国人日常生活サポート講座わたり』

「国際交流協会わたり」では巨理町及び近郊に住む外国人の方々の生活を支援する活動として『在住外国人日常生活サポート講座わたり』を毎月 1 回の予定で開催します。つきましては、協会会員の皆様にお手伝い等をお願いすることもあると思いますので、その節はよろしく願います。お手伝いの募集については別途ご案内いたします。

開催日	場 所	内 容
1 6月19日(土)	中央公民館調理室	日本の料理
2 7月3日(土)	巨理明和女学院	日本の音楽(その1)
3 9月4日(土)	巨理明和女学院	日本の音楽(その2)
4 10月23日(土)	巨理明和女学院	和服の着付
5 11月6日(土)	別途設定	華道及び書道
6 12月4日(土)	中央公民館調理室	日本の料理
7 1月22日(土)	場所は別途設定	健康に関する講和
8 2月5日(土)	場所は別途設定	童話読み聞かせ
9 3月5日(土)	中央公民館創作室	陶芸

主催 国際交流協会 in わたり

開催時間：10時より～12時まで

教室事務局：笹木重昭(Tel 36-2947)



2004年 国際交流まつりのご案内

実施日 10月3日(日)
場 所 中央公民館

「まつり」のいろいろな準備と当日の作業に携わっていただけるスタッフを大募集しています。

編集後記

協会初めての企画「ホームビジット」が、なんとか成功を収めました。このような企画があればまた参加したいという声に励まされ、さらにご期待に添えるように努力していきたいと思っております。今回の行事に参加していただいた皆様のご協力に感謝申し上げます。(石田)

国際交流協会わたり

*** 事務局から ***

報告事項

- ・4月4日 「国際交流協会わたり」総会
- ・5月16日 一日ホームビジット
(参加外国人：6カ国・12名)
- ・6月19日 「H16年度 親子日本語講座」開始

予定事項

- ・7月 第5号 会報「凜」発行
国際交流まつり準備開始
- ・10月3日 「国際交流協会まつり」開催

その他<会計から>

H16年度の会費未納の方 お早めに納入をお願いします。

読者から

会報4号の「座談会」とても面白かったです。知っている方が大勢出ていたのと、中でも佐藤啓明さんホームステイの際には特別自分達の生活を変える必要はなくて、彼女達(彼達)に日本を体験してもらおうという考え方に大変納得しました。(森正美さん)



国際交流協会 わたり

事務局 巨理町役場企画課 TEL 0223-34-0505

事務局長 八巻 幸子 TEL 0223-32-2747

ホームページ <http://www.soma.or.jp/~sendai/kokusai>